

IIC REVIEW 50 号発刊を祝う

社友・元代表取締役社長

大谷 正夫

Ohtani Masao



IIC REVIEW 誌は株式会社 IHI 検査計測の会社創立 15 周年を記念して社内技術誌として 1989 年 4 月に創刊されました。以来 25 年間休むことなく発行を続け、50 号に達したことをお喜び申し上げます。

当社は社員の持つ検査技術、計測技術を駆使して客先の広範囲な要求に応え検査記録、計測数値を提出し、その価値に見合った対価を得て会社の運営が成り立っています。提出した資料は客先にとって重要であり、客先として社外秘の資料が多く当社としても守秘義務を果たすことは、客先の信頼を維持する重要な要素です。

一方で当社の持つ広い意味での知的財産を社員が共有することは全社の総合力を発揮し、会社の事業拡大を図るためには是非必要なことです。

IIC REVIEW 誌は技術共有の媒体として重要な役割を期待されています。

当社は広い意味でのソフトエンジニアリングの会社です。客先に提供できる技術を持った技術者の能力拡充、教育訓練が重要なことは勿論ですが、世代を繋ぐ技術の伝承も疎かにできません。本誌はその媒体としても重要な役割を担っています。できるだけ多くの社員の工事経験、開発経験、場

合によっては失敗の記録が見える形で本誌に残すことを期待して創刊されました。

以来 25 年間歴代の編集委員のご努力により今回の 50 号の発刊ができたことを感謝いたします。この間、当初の期待を超えて当社の持つ最新技術や活動、社外へ発信した技術なども掲載するように展開され、執筆者数は一巻毎に 20 名として延べ約 1,000 人になり、社員数 500 名弱の規模の会社としては立派な記録と思います。

年間売上高 100 億円規模の当社は客先数約 1 千社、年間契約数 1 万 5 千件にのぼり、事業内容の間口が広く、開発要素を含んだ工事が常に多く持ち込まれます。その中には IHI 技術開発本部の BACK UP を期待されて工事が発注され IHI グループとして客先の信頼に応えている工事も少なくないと思います。

最近では検査や計測というソフト工事ばかりでなく、各地税関向け貨物検査用 X 線装置、給食設備や病院での滅菌設備などに用いられる夜間電力蓄熱式蒸気発生器「蒸気源」、飲料品充填量検査装置などハード製品の紹介記事が増加しているのも頼もしいかぎりです。

会社の信用が高まれば技術の間口を広げて行く機会が増加します。しかしながら本誌創刊から25年経ち事業環境は大幅に変化し、量的拡張の時代は過ぎ去った感があります。

創刊当時は火力、原子力発電設備、道路、橋梁、下水道等社会インフラ、公害防止設備の拡充の時代でした。

その後の円高、リーマンショック、地球温暖化問題、3.11の東日本大震災を経て事業内容が大幅に変化してきました。これから10年、20年先の

日本の経済環境がどうなるか予測は難しい時代になりましたが、社会インフラの整備一辺倒の時代から建設とメンテナンスの同時並行の時代になることは容易に予想されます。

そのためには新分野の技術獲得が欠かせません。技術進歩の著しいIT技術の利用と開発力の拡充に努めつつ新分野開拓に挑戦していただきたいと願います。

最後になりますがIIC REVIEW誌の発行が末永く継続されることを祈ります。